

平成 30 年度第 1 回大阪府地方独立行政法人
大阪府立病院機構評価委員会
議事要旨

- 1 日 時 平成 30 年 7 月 25 日（水）午前 10 時 00 分～午後 0 時 00 分
- 2 場 所 大阪赤十字会館（401 会議室）
- 3 出席委員 山崎委員長、上崎委員、中村委員、槇下委員、安田委員
- 4 議事内容

（1）委員長の選任について

山崎委員を委員長に推挙する意見が委員から出され、山崎委員が当該委員会の委員長に決定された。

（2）平成 29 事業年度の業務実績に関する評価について

- i 資料 1 及び 2 に基づき、平成 29 事業年度の業務実績について法人より報告が行われた後、法人の小項目評価について質疑応答が行われた。
- i 次に、資料 3 及び 4 に基づき、平成 29 事業年度の業務実績に関する知事の評価素案について、大阪府より説明がなされた。その後、知事の評価素案について審議が行われた。
- i 今年度の評価に係る意見は無かったが、次年度以降の評価において参考とされたい意見については、以下のとおりである。

<主な意見>

- i 評価番号【9】優れた医療スタッフの確保について、各病院が、府民の生命と健康を支える医療機関として安定した医療サービスを提供していくにあたり、医師等の確保は最重要課題の 1 つである。とりわけ、近年は外科医師をはじめとする医療スタッフの確保が困難になっているほか、新規採用者の職場への定着や女性の活躍促進等に向けたワークライフバランスの取組も重要になっている。
については、いわゆる働き方改革法や新専門医制度による影響を踏まえ、これらの課題に対応した取組を適切に評価できる指標の設定が望まれる。
- i 評価番号【19】手術待ちの改善について、手術の実施件数を評価指標としてしているところである。しかし、手術件数には待ち日数の概念を伴わない救急手術も含まれていることから、手術件数の増加が手術待ち日数の短縮に直接的に結びつくものとは言い切れない。今後、より実態を反映しうる指標の設定が望まれる。
- i 小項目評価の実施にあたり、法人の自己評価においては、数値目標の達成数に着目し、定性的な目標の達成状況は付加的に勘案する評価を行っている。
一方、知事の評価においては、定性的な目標も数値目標と同等に評価の算定単位として扱っている。
評価の考え方の違いによって、法人と知事の評価結果が異なる場合もあることから、評価結果の公表にあたり、評価の考え方についても、府民にとって、よりわかりやすい内容に構成することが望まれる。

（3）その他

特になし。